

令和2年5月26日  
JACIC ソリューション

## 新型コロナウイルス対策緊急支援措置 第3弾

—JACIC クラウドの試行版の無償提供を延長—

—本格運用はお試し利用を追加—

新型コロナウイルスの影響で、会議や打ち合わせ、現場における監督、検査、巡視等の活動が感染防止のため、Web 会議の利用など代替手段により執行されることになった。現場において、実用的な代替手段を確保することが急務となった。

そこで、本格運用に向けて準備してきた JACIC クラウドの試行版を無償提供し、地方整備局の業務支援を実施してきた。3月から支援要請のあった四国地方整備局において緊急支援措置を行い、4月からは、本省、5地方整備局（7組織15現場事務所）へと拡大をした。（図-1）

5月からは第2弾の緊急支援措置として、出水期の前に“災害に備えて”という観点から JACIC クラウドの活用（新現場力）による防災力の強化を図る。喫緊の課題として、現場において情報共有や活動の能力が低下し、防災力の低下が懸念される。そこで、JACIC クラウドの防災ルーム（試行版）とその活用方法を示したガイドラインを提供するとともに、4月からサービスを開始している 360°カメラで撮影した画像情報の共有システムを無償提供した。従来の方法に加えて防災対応の多重化を図り、防災力の強化に資する。緊急支援措置は、第1弾、第2弾ともに5月末までとした。5月には、地方自治体を含め、47機関に提供した。（図-2）

6月からは JACIC クラウドの本格運用を図るが、新型コロナウイルスの影響を鑑み、第3弾としてこれまで実施中の緊急支援措置を希望に応じて6月末まで1か月間無償提供を延長する。また、本格運用に際し、平常ルームの30日間の無償お試し利用を開始すると共に 360° 画像情報共有システムについても30日間の無償お試し利用を開始する。

### 【緊急支援措置】

第1弾 2020年3月～5月末

- ① JACICクラウド試行版 平常ルーム（会議室方式）を無償提供

第2弾 2020年5月～5月末

- ① JACICクラウド試行版 平常ルーム（会議方式）、防災ルーム（セミナー方式）を無償提供
  - ・洪水予報連絡会、水防連絡会等での利用
  - ・情報伝達訓練
  - ・現場巡視、確認
  - ・災害対応（本番）
- ② 「JACICクラウド防災ルーム活用ガイドライン（案）【河川編】」を①と併せて提供
  - ・タイムラインを用いた防災ルームの活用の仕方と留意点
- ③ 360°画像情報共有システムを無償提供

第3弾 2020年6月～6月末

- ① 第1弾、第2弾の対象者で希望する者に6月末まで無償提供を延長

本格運用後の措置

- ① 本格運用はお試し利用を追加
- ② 360°画像情報共有システムについてもお試し利用を追加

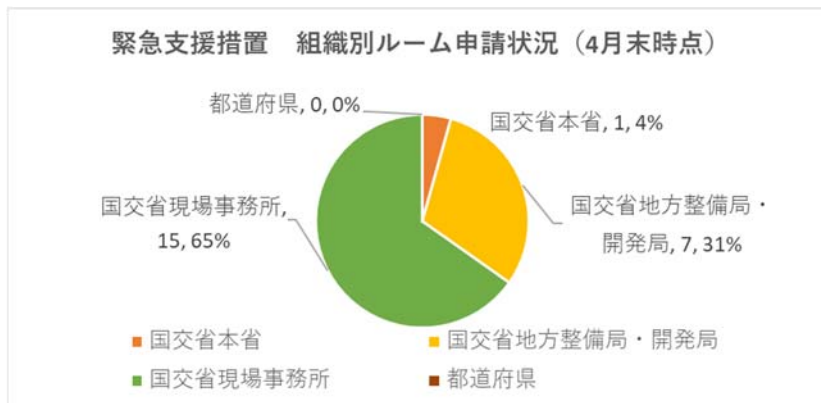


図-1 緊急措置第一弾の組織別ルーム試行状況

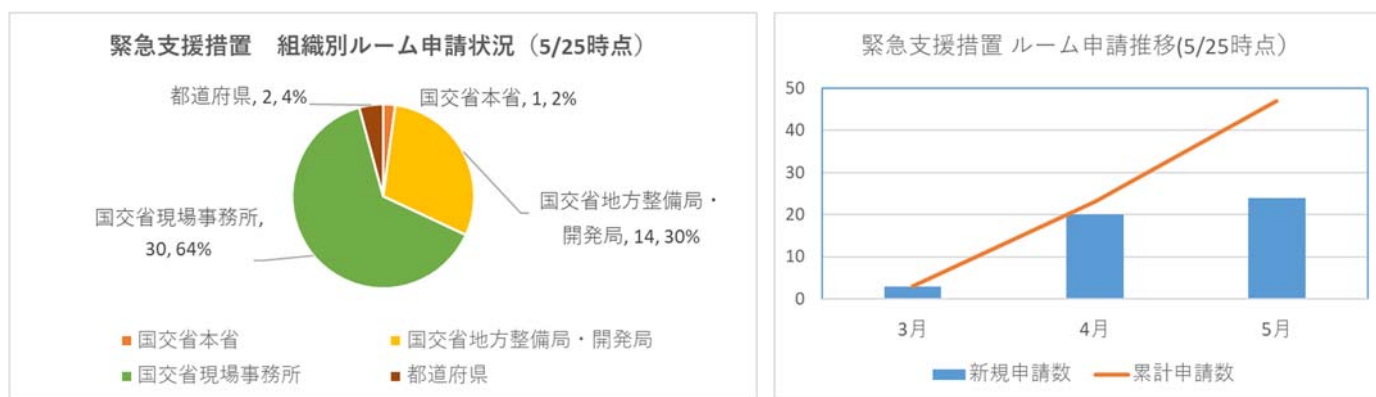


図-2 緊急措置第二弾までの組織別ルーム試行状況